CASBEE®-建築(新築) 評価結果

■使用評価マニュアル：CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版_追補版 ▌使用評価ソフト：CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v2.0)

1-1 建物概要

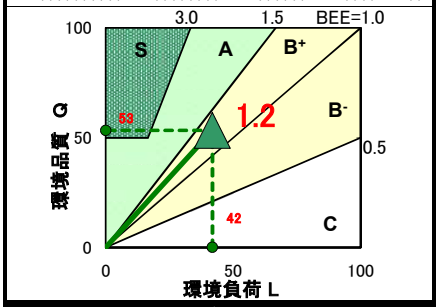
建物名称	(仮称)藤沢市片瀬海岸1丁目計画	階数	地上14F
建設地	神奈川県藤沢市片瀬海岸一丁目2609番1, 2609番2, 2609番3, 2609番6(地番)	構造	RC造
用途地域	商業地域、準防火地域	平均居住人員	118 人
地域区分	7地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2027年6月 予定	評価の実施日	2024年8月7日
敷地面積	570 ㎡	作成者	株式会社IAO竹田設計
建築面積	270 ㎡	確認日	2024年8月7日
延床面積	2,775 ㎡	確認者	株式会社IAO竹田設計

1-2 外観

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

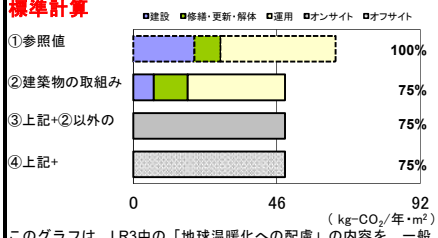
BEE =1.2

S: ★★★★★ A: ★★★★ B+: ★★★ B-: ★★ C: ★



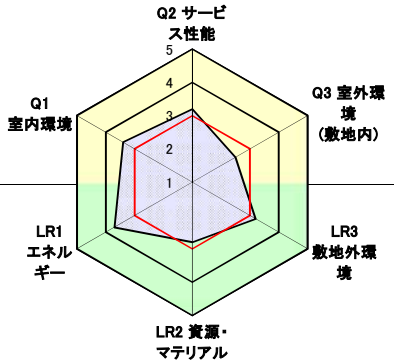
2-2 ライフサイクルCO2(温暖化影響チャート)

標準計算



このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物（参照値）と比べたライフサイクルCO2 排出量の目安で示したものです

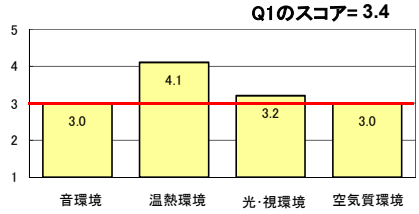
2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



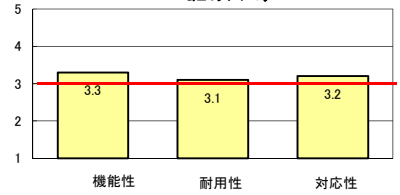
2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質　Q のスコア= 3.1

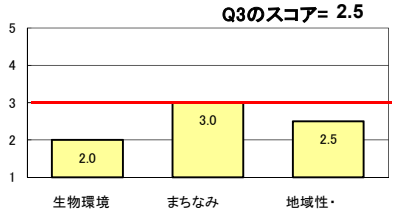
Q1 室内環境 Q1のスコア= 3.4



Q2 サービス性能 Q2のスコア= 3.2

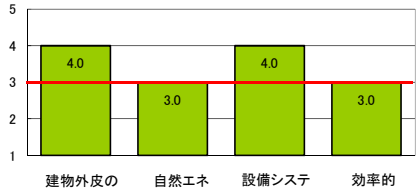


Q3 室外環境（敷地内） Q3のスコア= 2.5

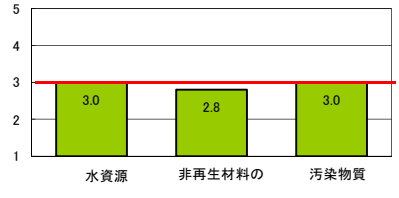


LR 環境負荷低減性　LR のスコア= 3.3

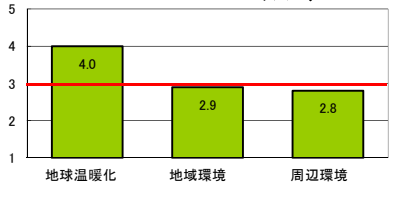
LR1 エネルギー LR1のスコア= 3.7



LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 2.8



LR3 敷地外環境 LR3のスコア=3.2



3 設計上の配慮事項

総合

良好な都市環境を形成し、賑わいのある街並みを維持するよう努める計画とした。また、高い外皮性能を計画し省エネルギーで快適な室内環境を整えれるよう努めた。

その他

-

Q1 室内環境

外皮性能として、住居部分日本住宅性能表示5-1断熱など性能等級等級5を満たす計画とし省エネルギーで快適な室内環境を整えれるよう努めた。

Q2 サービス性能

天井高さを高くして、広さ感、空間のゆとりを確保出来るように努めた。

Q3 室外環境（敷地内）

敷地内には適切に緑化を施すことで地表面温度上昇を極力抑える計画とした。

LR1 エネルギー

適切な断熱材を施し外皮の熱負荷抑制に努めた。

LR2 資源・マテリアル

-

LR3 敷地外環境

LCCO2の排出率を25%削減し、地球温暖化への配慮をしている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency（建築環境総合性能評価システム）
■Q: Quality（建築物の環境品質）、L: Load（建築物の環境負荷）、LR: Load Reduction（建築物の環境負荷低減性）、BEE: Built Environment Efficiency（建築物の環境効率）
■「ライフサイクルCO2」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■評価対象のライフサイクルCO2排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される